



明峰

令和8年10月14日

第16号

校長 岡野利男

※前号において、「16号は長崎街道②」を予告しておりましたが、そんな校長の自由気ままな通信よりも、生徒にとって大切な合唱コンクールが先でした。今号は、各学級の合唱アピールポイント特集です。明後日の歌声に期待します!!

～ 合唱コンクールに向けて ～

中学生が心を込めて表現する姿、それは大人を地域を、優しく心豊かにしてくれるものです。明峰生の歌声・ひたむきさが多くの人に届きますように。

1年1組 自由曲「生きている証」

練習の最初頃はソプラノの声が大きくて、テノールの声が聞こえていませんでしたが、今はソプラノと同じ声量で歌えています。パート練習では、お互いに直した方が良いところを言い合ったり褒め合ったりしながら練習を進めています。楽しく歌っているところ、練習で成長が感じられるところが1年1組のアピールポイントです。

1年2組 自由曲「怪獣のバラード」

ソプラノの声がきれいだし、ソプラノとアルトのハーモニーがとてもきれいです。歌声に元気があって、曲の最後に「ヤー」というところが1年2組のアピールポイントです。練習では、皆で合わせる時は全員がしっかり声を出して元気があるし、パート別で練習する時は、音程を確認しながら何回も繰り返し練習に取り組んでいます。

♪ 1年3組 自由曲「With you smile」

みんなで意見を出し合って、一生懸命練習をしています。まずは、「一人ひとり」を大切に。一人ひとりが表情豊かに・大きな声で・皆に聞こえるようにきれいに歌います。その結果として、みんなできれいに声を合わせて優勝したいです。一人一人の思いを大切に、クラスで一つになれるような合唱ができるように頑張ります。

1年4組 自由曲「あなたに会えて…」

アピールポイントは「ソプラノのきれいなハーモニー」と「一人ひとりの歌声が重なるハーモニー」の2つです!! やる気が出なかったり、面倒くさがったりしていたけど、練習を重ねる内に全員が一生懸命に取り組めるようになりました。本番では、今まで積み重ねてきた練習の成果を出しきり、きれいなハーモニーを作ります。

2年1組 自由曲「時の旅人」

私たちはこの合唱コンクールに向けて、「天歌合笑」を掲げて日々練習を積み重ねてきました。私たちが歌う「時の旅人」の特徴は、パートの掛け合いです。きれいなハーモニーが重なり合い、クラスの一体感が見えると思います。人数が少なく大変ですが一人ひとりがお互いをカバーし合い、美しい歌声を体育館中に響かせます。「みんなで笑おう 天までとどけ歌声」

2年2組 自由曲「マイバラード」

自由曲「マイバラード」の良さは仲間を信じ、仲間と共に生きていくというようなメッセージ性のある歌詞だと思っています。そんなマイバラードの良さが、聞いてくださる皆さんに伝わるよう、私たちはクラスの仲間と共に、全員でこの合唱を練習してきました。当日は皆さんに歌詞が、メロディーが、そして思いが心に届くよう全力で歌います。私たちの歌声をぜひお聴きください。

b 2年3組 自由曲「旅立ちの時～Asian dream song～」

自由曲「旅立ちの時」は、夢を追う者たちが明るく前向きになれる強さを持った曲です。この曲で私たちが最も伝えたいメッセージは「夢を掴む者たちよ 君だけの花を咲かせよう」というサビの部分の歌詞です。歌詞を際立たせるため、サビに入る前を弱く、サビに向かうにつれて力強く歌う工夫をしています。聞く人が明るく前向きになれる合唱となるよう本番に向けて頑張ります。

3年1組 自由曲「YELL」

元気で個性豊かなメンバーが、スローガン「一唱懸命」のもと一生懸命練習に取り組みました。一致団結した姿ときれいな歌声を届けます。自由曲「YELL」は未来へ歩き出す前向きな気持ちを歌っており、半年後、明峰中学校を卒業していくときになりたい自分を想像して歌います。注目Pは、ソロパートやパートのハモリです。「さよならは悲しい言葉じゃない」力強く歌います。

♪ 3年2組 自由曲「瑠璃色の地球」

担任の先生に勧めていただいたこの自由曲を通して普段の賑やかな個性溢れる私たちとは違った一面をより沢山のの人に届けられるよう、美しいメロディを大切にしながら歌います!!そして、私たちの歌声と同じくらい歌詞の意味に注目していただけるとまた違った魅力が見えてくると思います。当日は、私たち最後の合唱コンをスローガンの「合彩音唱」の下、体育館に響かせます。

3年3組 自由曲「手紙」

自由曲「手紙」は、これから進路選択を控えている私たちを励ましてくれる曲です。だからこそ、最後の「今を生きていこう」をみんなで息を合わせて歌います。私たちは、全員で目標に向かい・高め合い、一丸となって行事に取り組める学級です。強弱をつけ、感情を乗せて歌うところや、曲の後半にあるハモリの部分、そして最後のフレーズの歌いだしに注目してほしいです。